先端の創薬を通じて
人々の健康と
明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社
マスコットキャラクター
あすかちゃん

あすか製薬株式会社

第94期報告書

2013年4月1日～2014年3月31日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

第94期（2013年4月1日から2014年3月31日）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

当社グループは、継続的な薬剤費抑制策の実施など、一段と厳しさを増す国内医薬品市場の環境に対応するため、3年間の中期経営計画「ASKA PLAN 2015」に基づき、柔軟かつスピーディな経営を展開しております。

上記経営計画の目標である、売上規模500億円、営業利益30億円（売上高営業利益率6%）の実現に向けて収益改善に取り組み、筋肉質の企業体質を構築してまいります。

当社は、「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」との経営理念のもと、全ての役員・社員がベクトルを合わせ、経営ビジョンである「競争力のあるスペシャリティーファーマ」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2014年6月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による金融・財政政策を受けた円安・株高を背景に回復基調を辿りましたが、足許では円安による原材料価格の上昇や消費税増税の影響等から先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進等をはじめに継続的な薬剤費抑制策の実施に加えまして、企業間競争の激化も相俟って従来にも増して厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと当社グループでは、経営面では、昨年4月よりスタートした中期経営計画「ASKA PLAN 2015」の方針に基づき、後発医薬品事業の拡充を目的に昨年10月より「あすかジェネリック事業本部」を新設し、さらに、昨年11月には動物用医薬品事業を連結子会社のあすかアニマルヘルス株式会社に承継することを決定するなど、柔軟かつスピーディーな経営を展開してまいりました。販売面では新製品として後発医薬品6成分11品目を上市しましたが、長期収載品の売上減少の影響等から、売上高は395億1百万円（前連結会計年度比3.6%減）となりました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、売上高の減少および売上原価率上昇の影響により、営業利益7億1千6百万円（前連結会計年度比32.5%減）、経常利益10億3千1百万円（前連結会計年度比22.9%減）とそれぞれ減益となりました。また、当期純利益につきましても、前期に震災関連の復旧整備補助金を特別利益に計上したことの反動等もあり、4億9千5百万円（前連結会計年度比55.5%減）と減益となりました。

各分野における売上状況は、医薬品分野では、高脂血症治療剤「リピディル」が伸長したほか、緊急避妊剤「ノルレボ」も適正使用の推進により増加となりました。また、後発医薬品ではプロトンポンプ阻害剤「ラベプラゾール」や、本年2月に発売を開始したLH－RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」も売上増加に貢献しましたが、経皮吸収型鎮痛消炎剤「セルタッチ」ならびに長期収載品である前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール」、消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット」等の売上減少をカバーするには至らず、売上高は355億9千8百万円（前連結会計年度比4.1%減）となりました。

動物用医薬品分野では、主力製品の豚・鶏用飼料添加剤「アイブロシン」、繁殖器官用製剤「セロトロピン」「レジプロン」および飼料用アミノ酸「リジン」「L－トレオニン」ならびに「L－アルギニン」を中心に販売努力をいたしました結果、売上高は36億1千9百万円（前連結会計年度比2.6%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の各分野におきましては、それぞれ鋭意販売努力しましたが、売上高は2億8千3百万円（前連結会計年度比11.8%減）となりました。

生産面におきましては、製品の安定供給を最重点とし、在庫の積み増しや分散配置ならびに出荷体制の強化等に努め、計画した水準を達成することができました。また、今後の品質管理業務の高度化・効率化に対応すべくいわき工場敷地内に品質管理棟を建設し、昨年5月から稼働しております。

研究開発面におきましては、臨床試験実施中の新薬の確実な開発の推進はもとより導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

当社は、LH－RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」を本年2月に発売しました。本剤は、ニプロ株式会社の技術を基に両社で共同開発した後発医薬品であり、子宮内膜症や前立腺癌などに使用されることから、当社の重点領域である産婦人科領域および泌尿器科領域での後発医薬品普及に大きく貢献できると考えております。

当社がAlfa Wassermann S.p.A.（本社：イタリア）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結したL－105（肝性脳症治療剤：リファキシミン）は、現在フェーズⅡ／Ⅲ試験および

営業の概況

フェーズⅢ試験を実施中であります。また、本剤は希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されております。

当社がLaboratoire HRA Pharma,SA（本社：フランス）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結したCDB－2914（子宮筋腫治療剤：ウリプリスタール）は、フェーズⅡ試験を準備中であります。

AKP－008（黄体ホルモン剤：プロゲステロン膣剤）はフェーズⅢ試験を終了し、申請準備中であります。

あすかActavis製薬株式会社につきましては、後発医薬品事業の拡大を図るべく活動中であります。

当連結会計年度における設備投資額は19億4千5百万円で、その内訳は主として生産設備に係るものであります。

今後の医薬品業界は、後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップに則した薬価基準改定、消費税増税およびPIC／Sの導入などその環境は一段と厳しさを増すものと予想されます。

当社は企業価値の最大化を図るため、組織・人事・制度面での改革を進めてまいりました。今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

販売面につきましては、重点3領域（内科・産婦人科・泌尿器科）の戦略活動品目はもとより、本年2月に発売した「リュープロレリン」や今後発売予定のオーソライズドジェネリック「カンデサルタンあすか」等の普及を確実に進めるため、医薬営業本部およびあすかジェネリック事業本部の協働のもと、最適なエリア戦略により効果的、効率的なプロモーション活動を展開し計画を達成してまいります。

研究開発面につきましては、重点3領域に経営資源を集中させ、重要テーマのL－105、CDB－2914、AKP－008を確実に進めてまいります。特にL－105については今年度内に臨床試験を終了する予定です。

生産面につきましては、安定供給、品質確保の体制を確保し、委託品の内製化、新製品の生産、設備増強による生産量の拡大を通じ、生産性の向上と原価低減を進めてまいります。チラーヂンの安定供給につきましては、製品の分散配置・適正在庫を確保いたします。

グループ会社につきましては、あすかActavis製薬株式会社と共同で後発医薬品市場への浸透と開拓を進め、後発医薬品事業の確立を図ります。株式会社あすか製薬メディカルに関しましては、強みである検査事業とヘルスケア事業の売上伸長を目指した事業展開を進めてまいります。また、動物用医薬品分野の急速な市場環境の変動に対応するため、経営の柔軟化・迅速化をはかることを目的として設立し、本年6月1日に分割承継したあすかアニマルヘルス株式会社に関しましては、牛および豚の「栄養と繁殖・免疫」を事業領域とし、繁殖用薬とアミノ酸等機能性飼料の組み合わせによる相乗効果等により収益向上を目指すとともに、特徴ある製品構成および技術を確立し、収益性の向上を目的とした事業構築を進めてまいります。

利益面では、パイプラインの充実やステージアップにより研究開発投資の増加が予想されますが、大型後発医薬品の最大化、いわき工場稼働率向上による製造原価の低減、諸経費の見直しと集中投資による費用の圧縮などを通じて収益改善に取り組み、筋肉質の企業体質を構築してまいります。

内部統制に関しましては、業務の有効性および効率性の向上、財務報告の信頼性の確保、業務活動に関わる法令の遵守、会社資産の保全に向け、内部統制システムの強化・定着に努めてまいります。

また、株主の皆様はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2013年3月31日現在	当連結会計年度 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**27,233**	**26,115**
現金及び預金	3,983	4,269
受取手形及び売掛金	9,278	7,442
有価証券	2,694	2,650
その他	11,276	11,752
固定資産	**24,504**	**25,137**
有形固定資産	**11,889**	**12,400**
無形固定資産	**1,373**	**695**
投資その他の資産	**11,241**	**12,040**
投資有価証券	6,130	7,220
その他	5,110	4,820
繰延資産	**32**	**16**
資産合計	**51,770**	**51,269**
負債の部		
流動負債	**9,908**	**9,229**
固定負債	**8,512**	**8,098**
負債合計	**18,420**	**17,327**
純資産の部		
株主資本	**32,517**	**32,663**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	33,000	33,107
自己株式	△ 2,525	△ 2,487
その他の包括利益累計額	**827**	**1,242**
その他有価証券評価差額金	827	1,642
退職給付に係る調整累計額	—	△ 399
少数株主持分	**5**	**35**
純資産合計	**33,350**	**33,941**
負債純資産合計	**51,770**	**51,269**

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2012年4月 1日から 2013年3月31日まで	当連結会計年度 2013年4月 1日から 2014年3月31日まで
売上高	**40,963**	**39,501**
売上原価	23,047	22,431
売上総利益	**17,915**	**17,069**
返品調整引当金繰入額	7	0
差引売上総利益	**17,908**	**17,069**
販売費及び一般管理費	16,847	16,353
営業利益	**1,061**	**716**
営業外収益	387	442
営業外費用	111	127
経常利益	**1,336**	**1,031**
特別利益	359	—
特別損失	104	83
税金等調整前当期純利益	**1,592**	**947**
法人税等	482	421
少数株主損益調整前当期純利益	**1,109**	**526**
少数株主利益	△ 4	30
当期純利益	**1,114**	**495**

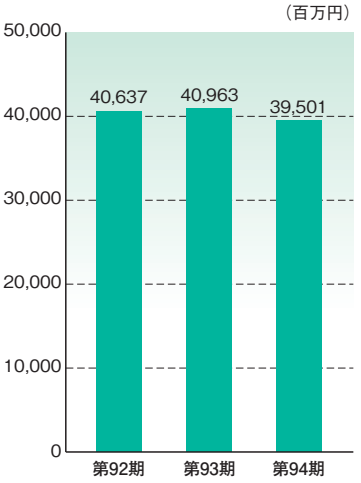
連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

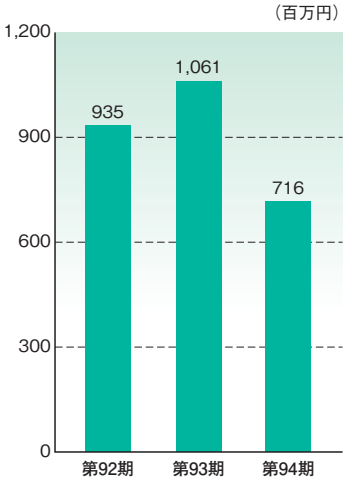
科目	前連結会計年度 2012年4月 1日から 2013年3月31日まで	当連結会計年度 2013年4月 1日から 2014年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**3,869**	**2,616**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 1,484**	**△ 2,301**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**124**	**△ 574**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**0**	**△ 0**
現金及び現金同等物の増減額	**2,509**	**△ 259**
現金及び現金同等物の期首残高	**4,068**	**6,578**
現金及び現金同等物の期末残高	**6,578**	**6,318**

財務ハイライト（連結）

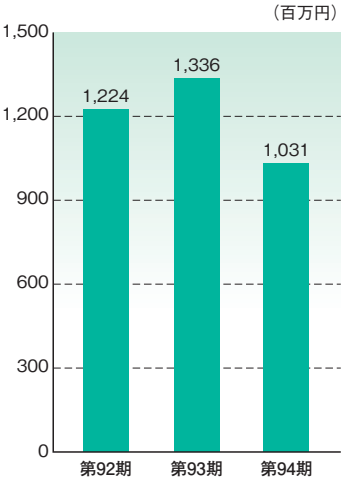
売上高



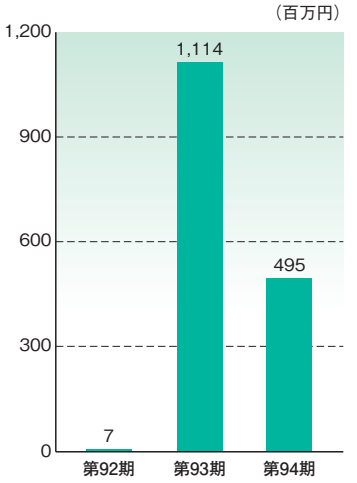
営業利益



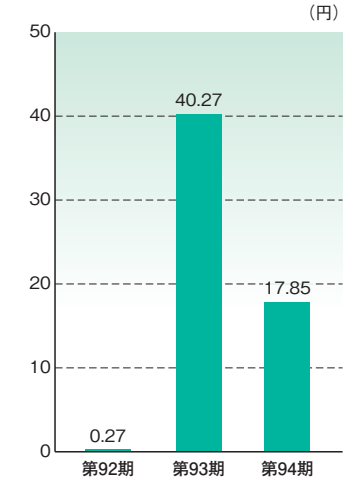
経常利益



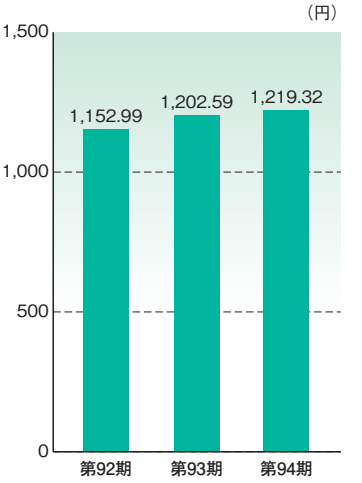
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



（注）当期末の自己資本比率は66.1％です。

●医療用医薬品



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5μg・25μg・50μg・75μg・100μg



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5mg・75mg、アルタット細粒20%



高脂血症治療剤
リピディル錠53.3mg・80mg



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg、5mg「あすか」

●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬慢性心不全用持続性ACE阻害剤
リズミナール錠
1mg・2.5mg・5mg



豚・鶏呼吸器疾患治療剤
アイブロシンプラス-10・50



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

◆ 単元株式数を1,000株から100株に変更しました

当社は、投資家の皆様にとって投資しやすい環境を整備し、当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図るため、2014年1月6日をもって、単元株式数を1,000株から100株に引き下げました。この変更に伴い株主の皆様が行う手続き等は特段ございません。

これまで100株から999株をご所有の株主様にも、株主総会の議決権が付与されました。

◆ アニマルヘルス事業をあすかアニマルヘルス株式会社に承継

近年の世界的な食糧問題や貿易自由化を背景とした畜水産業界の変化、コンパニオンアニマル用製品需要の変化等、アニマルヘルス事業の市場環境は急速に変動しています。

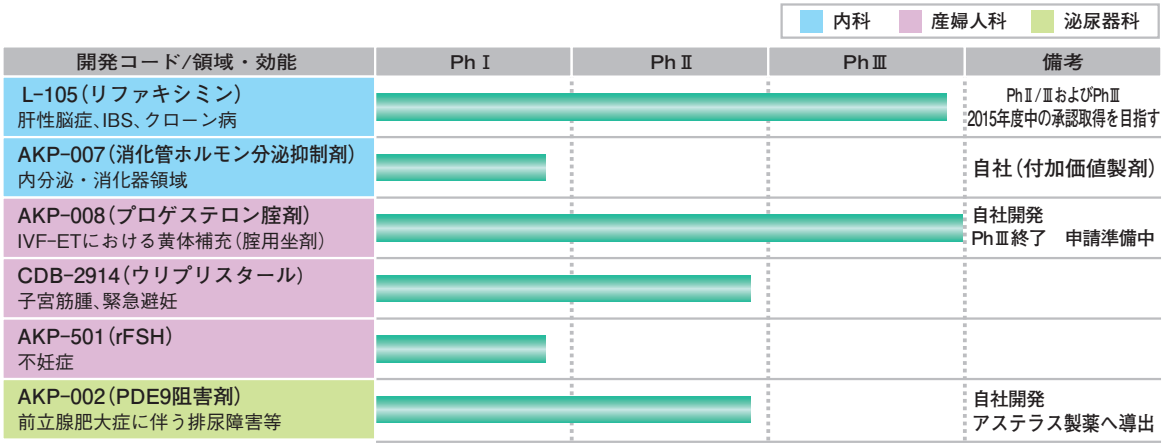
この市場環境の変化に即応するため、当社は、そのアニマルヘルス事業を分社化し、経営の自由度を高め、経営責任の明確化、意思決定の迅速化および物流・業務の効率化を推進することにより収益性の向上を目指すことを目的として、2013年6月にあすかアニマルヘルス株式会社を設立し、2014年4月に事業を開始しました。

あすかアニマルヘルス株式会社の今後の取り組みは、我が国の食糧自給の基礎となる畜産および水産物の生産性の維持、さらにはイヌおよびネコ等のコンパニオンアニマルの健康維持に有用な動物用医薬品等の研究・開発、製造、輸入および供給を通じ、動物が健康であることの願いに応え、食の安全を守ることにより、人と動物が共生できる社会創りに貢献することを目指しています。

また、畜産分野においては「栄養と繁殖・免疫」を事業領域とし、主力製品である繁殖用ホルモン剤を中心に、アミノ酸やアスタキサンチンなどの生理活性物質の活用により、畜産物の生産性向上を目指します。

今後、あすかグループとして、収益向上を目指すとともに、特徴ある製品構成および技術を確立し、収益性の向上を目的とした事業構築を進めてまいります。

◆ 研究開発の状況（2014年5月現在）



◆ 緊急避妊剤「ノルレボ®錠0.75mg」の製造販売承認承継

2014年1月27日、当社は、日本国内の独占的販売権を取得している「ノルレボ®錠0.75mg」につきまして、株式会社そーせいからの製造販売承認承継を完了いたしました。

本剤は、望まれない妊娠が危惧された場合に服用することにより避妊効果を発揮します。

当社は日本初の緊急避妊剤として、2011年5月の発売以来「緊急避妊法の適正使用に関する指針（日本産科婦人科学会編）」に基づき、本剤の適正使用のため啓蒙活動を実施するとともに、安定供給に努めております。

当社は引き続き女性の健やかな明日のためにより一層貢献してまいりたいと考えております。



◆ リュープロレリン酢酸塩注射用キット1.88mg·3.75mg「あすか」新発売

当社は、LH−RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤『リュープロレリン酢酸塩注射用キット1.88mg·3.75mg「あすか」』（一般名：リュープロレリン酢酸塩）を2014年2月20日に新発売いたしました。

本剤は、子宮内膜症・子宮筋腫・前立腺癌・閉経前乳癌・中枢性思春期早発症などを適応とする薬剤です。リュープロレリンは黄体形成ホルモン放出ホルモン（LH−RH）の誘導体で、女性ホルモンや男性ホルモンの分泌を抑制し、これら性ホルモン依存性疾患の治療に用いられます。また、この製剤はマイクロカプセルから長期間にわたり徐々に薬効成分が放出されるような工夫がされており、4週間に1回の注射で効果を示します。

本剤は、当社の重点領域である産婦人科領域および泌尿器科領域での後発医薬品の普及に大きく貢献できると考えております。



◆ 新製品発売 ～新しくラインナップに加わりました～



代謝拮抗剤
テノックス配合カプセルT20・T25



筋萎縮性側索硬化症用剤
リルゾール錠50mg「AA」

会社概要（2014年6月27日現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、北関東・甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	842名（3月31日現在）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	臨床検査・試験業務・医療機器販売業務等の受託、医薬品原材料等の販売 健康食品等の販売 清掃・警備等の受託、保険代理店
あすかActavis製薬㈱	345	55	医薬品の開発、販売ならびに輸出入
あすかアニマルヘルス㈱	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物などの製造、販売ならびに輸出入

あすかアニマルヘルス㈱は、2013年6月10日に設立し、2014年4月1日より事業を開始しております。

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	取締役副社長	山口雅夫
	専務取締役 （管理本部長、医薬事業・研究開発担当）	丸尾篤嗣
	取締役（社外取締役）	上田栄治
	取締役（社外取締役）	吉村恭典
	常勤監査役	小泉直之
	常勤監査役	大竹　充
	監査役（社外監査役）	武田裕二
	監査役（社外監査役）	杉尾　健
執行役員	常務執行役員 （特命事項担当）	角張信隆
	常務執行役員 （医薬営業本部長）	松葉昌行
	執行役員 （医薬営業本部副本部長）	秋山　明
	執行役員 （医薬事業本部長）	村上　誠
	執行役員 （信頼性保証担当）	川原真幸
	執行役員 （研究開発本部長）	蓮見幸市
	執行役員 （特命事項担当・㈱あすか製薬メディカル代表取締役社長）	齋藤守信
	執行役員 （生産本部長）	木村孝一
	執行役員 （あすかジェネリック事業本部長）	米澤俊夫
	執行役員 （経営企画担当）	熊野郁雄

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,675名

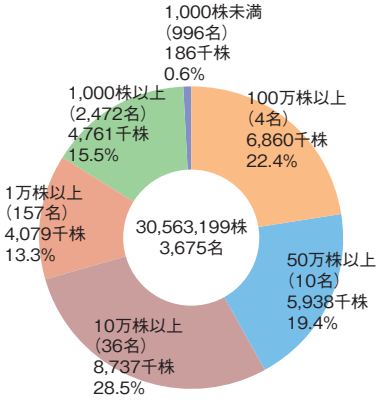
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,448	5.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.8
山口　隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	719	2.5
株式会社ヘルスケア・キャピタル	600	2.1
株式会社ヤマグチ	556	1.9
日本生命保険相互会社	550	1.9
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	535	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	532	1.8

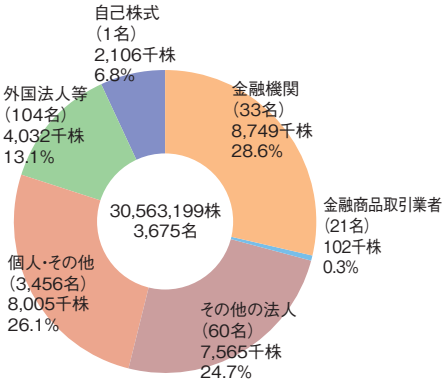
（注）1. 当社は、自己株式を2,106,244株所有しておりますが、上記大株主からは控除しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120（232）711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
ＱＲコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のＱＲコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120（232）711（通話料無料） http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。
特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である**「株式数比例配分方式」**をお選びいただく必要がございます。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

あすか製薬株式会社
本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK